

シンポジウム 1 歯科における医療連携

11月5日(水) 16:30 - 18:30 F会場

座長 森本 徳明(矯正歯科森本)

0-F-3-1 歯科における医療情報連携の現状と日本歯科医師会の考え方

富山 雅史(日本歯科医師会 常務理事)

0-F-3-2 公的病院における周術期口腔機能管理への取り組み

西田 節子(広島赤十字・原爆病院 医事顧問)

0-F-3-3 周術期口腔管理センターにおける多職種連携の現状と課題

吉松 昌子(長崎大学病院周術期口腔管理センター)

0-F-3-4 歯科領域と医療情報化政策

中安 一幸(北海道大学大学院保健科学研究院)

シンポジウム 2 電子カルテにおける医療記録記載～あらためて問う、新たに考える～

11月6日(木) 10:00 - 12:00 A会場

座長 岩崎 榮(卒後臨床研修評価機構), 渡邊 直(聖路加国際大学 教育センター)

1-A-1-1 電子カルテ時代の POS ーどのように記載し、何を継承するか

渡邊 直(聖路加国際大学 教育センター)

1-A-1-2 電子カルテ時代の POMR とその監査

渡邊 佳代(川崎医療福祉大学 医療情報学科)

1-A-1-3 電子診療録には二次利用のための十分な記載があるか?

羽石 遥(千葉大学医学部附属病院 企画情報部)

1-A-1-4 実地医家からみた電子カルテの課題

石川 広己(日本医師会常任理事)

1-A-1-5 高齢化社会における地域連携を視野に入れたデータ利活用可能な診療記録記載を考える

井川 澄人(ソフトウェアサービス)

シンポジウム 3 適正な保険診療のための電子カルテシステムのあり方

11月6日(木) 17:30 - 19:00 A会場

座長 合地 明(岡山大学), 荒木 孝二(東京医科歯科大学)

1-A-5-1 適正な保険診療のための電子カルテシステムのあり方

本多 正幸(長崎大学)

1-A-5-2 歯科における診療録の電子化の現状

森本 徳明(矯正歯科 森本)

1-A-5-3 適正な保険診療のための電子カルテシステムのあり方(指針作りに向けて)

児島純司(音羽病院)

シンポジウム 4 看護現場を支える新世代ユビキタス情報システム

11月6日(木) 16:00 - 18:00 I会場

- 座長 保坂 良資(湘南工科大学), 瀬戸 僚馬(東京医療保健大学)
- 1-I-2-1 **看護現場を支えるユビキタスワイヤレスシステム**
保坂 良資 (湘南工科大学工学部人間環境学科)
- 1-I-2-2 **看護業務における情報端末とは**
脇坂 仁 (防衛医科大学校病院)
- 1-I-2-3 **ナースコール情報の信頼性向上についての検討**
星 善光 (東京都立産業技術高等専門学校 ものづくり工学科 医療福祉工学コース)
- 1-I-2-4 **病棟ケアの最適化を図る看護支援システムの今後**
瀬戸 僚馬(東京医療保健大学)

シンポジウム 5 生物および身体の数理解と数理による医療情報へのアプローチ

11月7日(金) 16:00 - 18:00 |会場

- 座長 藤田 伸輔(千葉大学), 真原 仁(千葉大学)
- 2-I-3-1 **数理的アイデアによる大腸がん組織病理診断支援技術について**
中根 和昭 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)
- 2-I-3-2 **細胞における解糖系振動反応の医療情報学への展開
—癌細胞の特異的な糖代謝に着目した細胞増殖能の新規評価手法—**
雨宮 隆 (横浜国立大学大学院環境情報研究院)
- 2-I-3-3 **心室細動の数学的理解に向けて**
二宮 広和 (明治大学 総合数理学部)
- 2-I-3-4 **「機能訓練専門デイサービス」の効果検証— これまでの成果と課題、今後の展望 —**
大金 朱音 (至誠館大学)

シンポジウム 6 患者プロフィールと医療安全

11月8日(土) 13:45 - 15:45 B会場

- 座長 栗原 幸男(高知大学)
- 3-B-2-1 **患者プロフィール情報の整備と医療安全**
栗原 幸男 (高知大学医学部看護学科保健医療情報学)
- 3-B-2-2 **アレルギー情報の入力・出力様式の現状 —全国アンケート調査の結果から—**
中山 雅晴 (東北大学災害科学国際研究所災害医療情報学分野・東北大学病院メディカルITセンター)
- 3-B-2-3 **医療看護支援ピクトグラムを活用事例 ～患者プロフィールに注目して～**
藤井 友広 (呉共済病院)
- 3-B-2-4 **患者プロフィール情報に必要な標準医療情報の要件は何か？
～アレルギー情報に関する検討を通して～**
木村 映善 (愛媛大学医学部附属病院医療情報部)

シンポジウム 7 電子カルテ入力情報の多目的利用に標準モデルはどう寄与するか
～Write once,use anywhere を目指して～

11月8日(土) 10:40 - 12:10 |会場

座長 今井 建(東京大学), 木村 映善(愛媛大学)

3-I-2-1 情報連携を可能にしたテンプレート機能の導入と評価

岡本 和也 (京都大学医学部附属病院 医療情報企画部)

3-I-2-2 電子的診療情報の二次活用に向けて - がん登録における診療情報収集の問題点の検討 -

河添 悦昌 (東京大学医学部附属病院 企画情報運営部)

3-I-2-3 二次利用の標準化・再利用が可能な DWH は実現できるか

木村 映善 (愛媛大学医学部附属病院医療情報部)

3-I-2-4 医療情報の二次利用に関して

興梠 貴英 (自治医科大学企画経営部医療情報部)

3-I-2-5 診療情報の多目的利用を支えるターミノロジー・オントロジー

今井 健 (東京大学医学部附属病院企画情報運営部)

シンポジウム 8 電子母子健康手帳の標準化・普及に向けて

11月8日(土) 13:45 - 15:15 |会場

座長 中林 正雄(愛育病院)

3-I-3-1 ワクチンの副反応に主眼を置いた安全情報報告様式の検討

十川 正吾 (電子母子健康手帳標準化委員会 (シミックホールディングス株式会社))

3-I-3-2 岩手県での母子健康手帳 -大災害での母子健康手帳活用に関する考察-

小笠原 敏浩 (岩手県立大船渡病院)

3-I-3-3 紙の母子健康手帳から電子母子健康手帳へ

山田 恒夫 (一般財団法人医療情報システム開発センター)

3-I-3-4 妊婦健診におけるスマートフォンアプリ「妊婦手帳®」の活用

杉田 匡聡 (N T T 東日本関東病院 産婦人科)

3-I-3-5 電子母子健康手帳の標準化・普及に向けて健診・予防接種支援システム Siss

明貝 路子 (静岡市立清水病院)

ワークショップ 1 情報のバックアップと外部保存、そして情報の共有利用に向けて

11月6日(木) 15:50 - 17:20 A会場

座長 奥田 保男(放射線医学総合研究所)

1-A-4-1 画像情報の外部保存、バックアップ、情報共有

奥田 保男 (放射線医学総合研究所)

ワークショップ 2 CDISC 標準による医療情報および臨床試験システムの統合的運用

11月6日(木) 15:50 - 17:20 B会場

座長 木村 通男(浜松医科大学医学部附属病院医療情報部)

1-B-2-1 CDISC 標準による医療情報および臨床試験システムの統合的運用

木村 通男 (浜松医科大学医学部附属病院医療情報部)

ワークショップ 3 病院情報システムを治験データとして活用することへの展望と課題

11月6日(木) 10:00 - 12:00 I会場

座長 横井 英人(香川大学)

1-I-1-1 病院情報システムを治験データとして活用することへの展望と課題

青柳 吉博 (国立がん研究センター)

ワークショップ 4 看護思考プロセスをナビゲートする構造化臨床看護知識コンテンツの開発と活用

11月7日(金) 16:00 - 18:00 D会場

座長 水流 聡子(東京大学)

2-D-3-1 看護思考プロセスをナビゲートする構造化臨床看護知識コンテンツの開発と活用

水流 聡子 (東京大学)

ワークショップ 5 病院情報システムにおける紙情報の現状と変化の方向性

11月7日(金) 09:00 - 10:30 E会場

座長 武田 裕(慈恵医療科学大学), 八幡 勝也(住田病院)

2-E-1-1 病院情報システムにおける紙情報の現状と変化の方向性

八幡 勝也 (医療法人 住田病院)

ワークショップ 6 ISMS の動向と医療分野への適用

11月7日(金) 16:00 - 18:00 E会場

座長 高取 敏夫(日本情報経済社会推進協会), 森口 修逸(株式会社エム・ピー・オー)

2-E-3-1 ISMS の動向と医療分野への適用

森口 修逸 (株エム・ピー・オー)

ワークショップ 7 地域医療 ICT 連携の真価と可能性～長崎県「あじさいネット」における価値ある活用法とその評価～

11月8日(土) 10:10 - 12:10 B会場

座長 松本 武浩(長崎大学)

3-B-1-1 地域医療 ICT 連携の真価と可能性
-長崎県「あじさいネット」における価値ある活用法とその評価-

松本 武浩 (長崎大学病院 医療情報部)

ワークショップ 8 病院情報システムの利用者心得を普及させるためのシナリオ

11月8日(土) 09:00 - 10:30 I会場

座長 石川 澄(社会医療法人 沼南会本部), 稲田 紘(兵庫県立大学)

3-I-1-1 病院情報システムの利用者心得を普及させるためのシナリオ

岸 真司 (一般社団法人 日本医療情報学会・医療情報技師育成部会)